

## 母校の私立大学研究ブランディング事業の充実のため 同窓会も参画することとなりました

東京歯科大学同窓会 会長 矢 崎 秀 昭

大学の学術研究面での発展を支援する国のブランディング事業に、本学の口腔科学センターの山口 朗先生が中心となり進めている顎骨疾患についての研究が選出されました。大学の各講座の高度な専門的な研究と共に、その研究の成果を臨床の立場で検証し、さらに応用するために同窓会としてのこの事業への参画を求められました。同窓会としてもワーキンググループの委員を選出して、この事業の推進に協力してゆくこととなりました。

この度、山口先生にこの事業の概要とその目的について記述して頂きました。今後、同窓会のホームページなどを通じて顎骨疾患についての研究成果や、さらに会員の質問にも対応できることを目指しています。

### 東京歯科大学が2017年度「私立大学研究ブランディング事業」(文部科学省)の 支援校に選定されました

東京歯科大学口腔科学研究センター客員教授  
東京歯科大学研究ブランディング事業推進委員会  
委員長 山 口 朗 (昭和49年卒)

この事業は、学長のリーダーシップの下、全学的な独自色を大きく打ち出す研究に取り組む私立大学に対して、文部科学省が補助金を増額して大学の研究を支援するもので、タイプA（社会展開型：地域貢献）とタイプB（世界展開型：先端的・学際的研究拠点）の2種類があります。この事業を通じて、文部科学省は各私立大学が将来ビジョンに沿ってどのような具体的な戦略で独自色を打ち出して大学を発展させるかを問うているともいえます。本学ではタイプBの事業として「顎骨疾患の集学的研究拠点形成：包括的な顎口腔機能回復によるサステナブルな健康長寿社会の実現」（顎骨疾患プロジェクト）を申請し、選定されました。2017年度は、歯学系では岩手医科大学（医歯薬学部合同）、福岡歯科大学、福岡医療短期大学（歯科衛生学科と保健福祉学会）がタイプAで選定されましたが、タイプBで選定されたのは本学だけでした。

顎骨に生じる疾患は基本的生活を支える口腔機能

に種々な障害を生じ、日常生活への支障をきたす原因となります。そのため、本事業では、口腔科学研究センターを中心とした全学横断的研究拠点を形成して、種々の顎骨疾患の発症メカニズムの解明、およびその予防・診断・治療法を開発し、顎骨疾患による口腔機能障害を回復して、健康長寿社会の実現に貢献することを目指します。本事業の推進により、最先端の教育・研究・医療をもって社会に貢献できる基盤を構築して、「ヒューマニズムとリサーチマインドを堅持する歯科医師を育てる大学」をブランド化します。

本事業では、大学病院などで診断・治療の対象となる顎骨の遺伝性疾患、腫瘍性疾患、感染性疾患、顎変形症、薬剤関連性顎骨壊死などの「希少疾患」と一般の歯科診療所で治療対象となる歯周病による骨破壊や歯の喪失による顎骨萎縮／吸収などの「一般的な歯科疾患」を研究対象とします。これらの疾患に関して、本事業では学問分野の「壁」を越えた

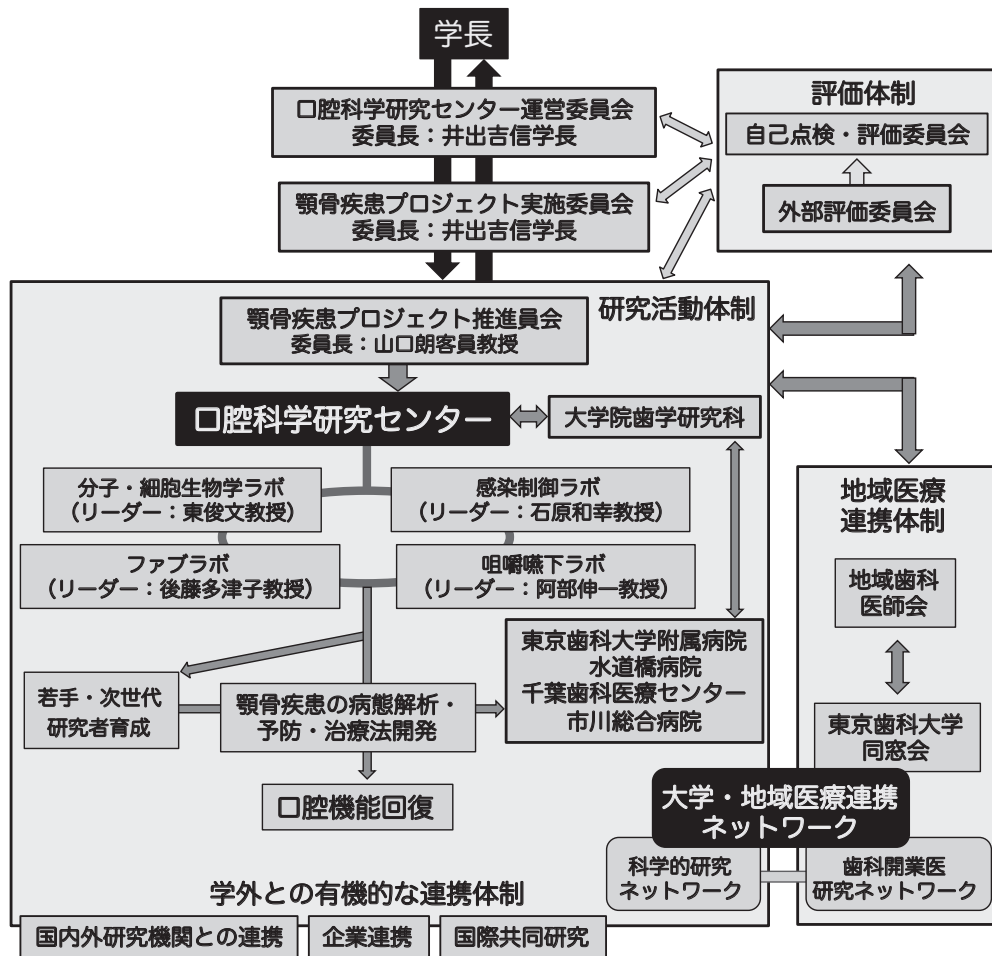


図1

「分子・細胞ラボ」, 「感染制御ラボ」, 「ファブラボ」, 「咀嚼嚥下ラボ」の4つの研究グループを構築して、各グループの有機的な連携による先端的な病態解析、診断法、治療法の開発へと展開させます（図1、表1）。そして、顎骨疾患のメカニズムの解析を基盤とした予防・治療法を開発し、包括的な顎口腔機能回復によるサステナブルな健康長寿社会の実現に貢献することを目的とします。さらに本事業では、各研究グループで異分野交流を基盤とした若手・中堅研究者のワーキンググループを設置し、次世代大型研究プロジェクトを見据えた活動も開始しています（表1）。本事業の詳細は東京歯科大学ホームページの「私立大学研究ブランディング事業」（<http://www.tdc.ac.jp/college/activity/branding/tabid/659/Default.aspx>）をご参照ください。

本事業では、その成果を臨床の現場に還元するこ

とが極めて重要なポイントになります。そのためには、本学同窓会の皆様のご指導、ご協力、ご支援による緊密な連携の構築が必須です。具体的には、大学を中心とした「科学的研究ネットワーク」と同窓会を中心とした「歯科開業医研究ネットワーク」の双方向性情報交換ができる「大学・地域医療連携ネットワーク」の構築を目指します（図1）。このようなシステムの構築は、長い伝統を有し、多くの会員の常に連携のとれた活動をしている東京歯科大学同窓会でこそできる事業であり、本学は先陣を切って我が国で初めての本格的な「大学・地域医療連携ネットワーク」を構築して、地域医療の発展にも貢献する義務があると考えております。このような趣旨を井出吉信理事長・学長、矢崎秀昭同窓会長にご相談し、ご了解を賜りましたので、まず「東京歯科大学研究ブランディング事業・同窓会連携構築ワーキンググループ」（表2）を設置し、具体的な

口腔科学研究センター

山口 朗・客員教授  
溝口利英・講師

	分子・細胞ラボ		感染制御ラボ		ファボラボ		咀嚼嚥下ラボ	
リーダー	東 俊文	生化学・教授	石原和幸	微生物学・教授	後藤多津子	歯科放射線学・教授	阿部伸一	解剖学・教授
サブリーダー	笠原正貴	薬理学・教授	澁川義幸	生理学・教授	松永 智	解剖学・准教授	佐藤正樹	生物学・講師
研究 分担者	齋藤 淳	歯周病学・教授	齋藤 淳	歯周病学・教授	片倉 朗	口腔病態外科学・教授	大久保真衣	摂食嚥下リハビリテーション・准教授
	新谷誠康	小児歯科学・教授	村松 敬	保存修復学・教授	澁井武夫	オーラルメディスン・口腔外科学・准教授	山本将仁	解剖学・講師
	柴原孝彦	口腔顎顔面外科学・教授	木村麻記	生理学・講師	菅原圭亮	口腔病態外科学・講師	四ツ谷護	クラウンブリッジ補綴学・講師
	末石研二	歯科矯正学・教授	国分栄仁	微生物学・講師	高橋有希	薬理学・助教	佐々木穂高	口腔インプラント学・講師
	高橋慎一	市川総合病院皮膚科・教授	柴山和子	微生物学・講師	笠原正彰	歯科理工学・助教	菅野亜紀	短期大学・講師
	恩田健志	口腔顎顔面外科学・講師	菊池有一郎	微生物学・講師	佐藤涼一	衛生学・助教	大平真理子	バーチャルデンチャー補綴学・助教
	石井武展	歯科矯正学・講師	櫻井敦朗	小児歯科学・講師	小高研人	歯科放射線学・助教	長坂 新	口科研・ポスドク
	河野通良	市川総合病院皮膚科・講師	東川明日香	生理学・助教				
	青木栄人	歯周病学・助教	喜田大智	歯周病学・助教				

推進委員会委員

ワーキンググループ

委員長	東 俊文	生化学・教授	石原和幸	微生物学・教授	後藤多津子	歯科放射線学・教授	阿部伸一	解剖学・教授
委員	澁川義幸	生理学・教授	菊池有一郎	微生物学・講師	松永 智	解剖学・准教授	山本将仁	解剖学・講師
	中村 貴	生化学・講師	櫻井敦朗	小児歯科学・講師	菅原圭亮	口腔病態外科学・講師	木村麻記	生理学・講師
	石井武展	歯科矯正学・講師	竜 正大	老年歯科補綴学・講師	田坂彰規	バーチャルデンチャー補綴学・講師	小野寺晶子	生化学・講師
	北村 啓	組織・発生学・助教	今村健太郎	歯周病学・助教	佐藤涼一	衛生学・助教	別所央城	口腔病態外科学・講師
	青木栄人	歯科矯正学・助教	國分克寿	臨床検査病理学・助教	佐古 亮	歯内療法学・助教	神田雄平	クラウンブリッジ補綴学・助教

表1 平成30年度研究体制

	東京歯科大学 研究ブランディング事業	東京歯科大学同窓会
アドバイザー	井出吉信学長 一戸達也副学長	矢崎秀昭会長 宮地建夫顧問
委員	山口 朗 (口腔科学研究センター客員教授) 片倉 朗 (口腔病態外科学講座教授) 阿部 伸一 (解剖学講座教授) 齋藤 淳 (歯周病学講座教授) 村松 敬 (保存修復学講座教授)	臼田 準 (臼田歯科医院院長) 武田 孝之 (武田歯科医院院長) 中島 信也 (中島歯科医院院長) 片山 明彦 (有楽町デンタルオフィス院長) 齋藤 貴之 (こばやし歯科クリニック) 青木 一充 (東京都立墨東病院歯科口腔外科)

表2 東京歯科大学研究ブランディング事業・同窓会連携構築ワーキンググループ

連携構築を検討しています。

東京歯科大学は、今後「ヒューマニズムとリサーチマインドを堅持する歯科医師を育てる大学」として多くの歯科医師を輩出していきますが、すでに卒業した大学教員、一般診療をされている先生方も

「ヒューマニズムとリサーチマインドを堅持する歯科医師」として活躍してくださることを期待しております。このような歯科医師を育成、維持するためにも是非とも本事業へのご理解とご支援をお願い申し上げます。